

第71回 EVENING THEATER

震災特集



2013年3月13日(水) 開場 18:00 開演 18:30

土木学会 講堂 (JR中央線・地下鉄丸の内線・南北線「四ツ谷」駅下車徒歩5分)

HPにて参加申込み受付

<http://committees.jsce.or.jp/avc/>

問合せ先：土木学会土木学会図書館 土木技術映像委員会担当

イブニングシアターは、CPDプログラム(2単位)です。会員証でCPDポイントの自動登録が可能ですのでご参加の際にご持参ください。

上映作品

東日本大震災 一初動期にどう対処したか

企画・制作：国土交通省東北地方整備局 制作年：2011 5分

当映像は3篇から構成されます。最初の「国土交通省防災ヘリ「みちのく号」からの空撮映像」では、冠水する直前に仙台空港から飛び立った「みちのく号」が仙台市内から名取市まで北上し、津波が押し寄せる瞬間の映像を克明に伝えています。そこから引き返して完全に冠水した仙台空港の様子を伝え、さらに南下して福島第一原発の津波によって全電源喪失に至った貴重な映像を映し出しています。2番目の「釜石港湾事務所屋上からの津波映像」では、釜石の津波防波堤を越え市街地に激流となって押し寄せた津波が、家屋や車などあらゆるものを飲み込んで、目の前に迫ってくる瞬間を捉えています。3番目の「CCTVによる連続映像（岩手県）」は定点カメラが捉えた映像で、岩手県内宮古市役所、田老地区、山田町の国道45号線を津波が襲う瞬間を早回しで編集したものです。いずれも東日本大震災直後の大津波襲来の様子を伝える貴重な記録映像で、後世に残すべき価値があります。

「三陸の奇跡」と「命の道」～東日本大震災から学びました～

企画・制作：釜石市・釜石市立釜石東中学校・釜石市立鶴住居(うのすまい)小学校
制作年：2011 5分57秒

釜石市立釜石東中学校と鶴住居小学校の皆さんが、自分たちの言葉で、3月11日の地震発生直後の出来事を語っています。地震による大津波に襲われ、小中学校の皆さんは上へ上へと高台に逃げていきました。やっとの思いでたどり着いたのは、6日前の3月5日に開通したばかりの「釜石山田道路」。日も暮れ雪の中で救助を待っていましたが、45号線は不通で身動きが取れません。この状況を救ったのが釜石山田道路でした。通りかかった数台のトラックに乗り込み、約600人の生徒・児童さんは市内の体育館に避難することができました。釜石山田道路は、子供たちを救ったまさに「命の道」だったのです。

復旧の軌跡－阪神・淡路大震災土木施設の災害記録

企画・制作：兵庫県土木部 制作協力：(財)兵庫県建設技術センター・(株)NHKきんきメディアプラン
制作年：1998年 27分

1995年1月17日に発生した阪神・淡路大震災によって兵庫県内の土木施設は、神戸市、西宮市、淡路島北部を中心に大きな被害を受け、被害総額は1兆5千億円に上りました。この作品は震災から3年後、1998年12月に兵庫県土木部(現、県土整備部)が企画制作した阪神・淡路大震災の映像記録です。震災直後の阪神高速道路、鉄道、下水処理場、港湾施設、河川堤防、西宮市仁川の土砂崩れなど県内各地の土木施設が受けた被害の全貌を27分という短い時間でコンパクトに紹介するとともに、道路、鉄道、港湾などジャンルごとに、被害の状況を詳しく説明しています。また、兵庫県による震災後3年間の復旧への取り組みについても解説を加えています。阪神・淡路大震災を描いた映像作品には、人的被害の状況や救命救急、安全対策をテーマにしたものが多いですが、この作品は地震による土木施設の被害と復旧にテーマを絞った他にあまり類を見ない作品です。その意味で、土木技術者や行政担当者に限らず、土木や防災に関心を持つ多くの人に見ていただきたい作品です。

テレビカメラが見た東日本大震災

製作：仙台放送
監修：東北大学 大学院工学研究科 災害制御研究センター長 今村文彦教授
協力：東北大学、国土交通省、防衛省、宮城県、仙台市消防局、女川町、東北建設協会
国立病院機構宮城病院、石巻ガス(株)、映像を提供くださった視聴者の皆様
フジテレビ、FNN(フジニュースネットワーク)バンエイト
制作年：2012年 105分(主要映像30分紹介)

突然の大きな揺れ、初めて目の当たりにする大津波、そして、安否や被害状況も確認できない中での恐怖と混乱、ライフラインが寸断された中での避難生活。1カ月後、3カ月後、半年、1年と経過するにつれ刻々と変わる課題。“あの日”以来、私たち仙台放送は“被災地から伝えたい”という強い思いをずっと持ち続けてきました。そして、今、改めて後世のために、あの日の出来事を語り伝えたいという多くの方々に出会いました。震災から1年が経過した今だからこそもとめることが可能となった、あの震災の、津波の記録と証言です。